Hanwha Vision

ネットワークインターコム

ユーザーマニュアル

TID-A800

CE

ネットワークカメラ
ユーザーマニュアル

Copyright

©2026 Hanwha Vision Co., Ltd. All rights reserved.

商標について

本書に記載されている各商標は登録済みです。本書に記載されている本製品の名称およびその他の商標は、各社の登録商標です。

制約について

本書の著作権は留保されています。どのような状況であっても、本書の一部または全体を複製、配布または変更するには、正式な認可が必要です。

免責事項について

Hanwha Vision はマニュアルの完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。このマニュアルの使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うことになります。
Hanwha Vision は事前の通知なしにこのマニュアルの内容を変更する権利を留保します。

※ 設計および仕様は予告なく変更する場合があります。

※ デフォルトの管理者IDは"admin"です。パスワードは初めてログインするときに設定する必要があります。
個人情報を安全に保護し、情報窃盗による被害を防ぐため、パスワードは3か月ごとに変更してください。
パスワードの不正管理によって発生したセキュリティおよびその他の問題は、ユーザー側の責任であることに御注意ください。

重要な安全ガイド

1. 本書の説明をよく読んで下さい。
2. 本書の指示を守ってください。
3. 全ての警告を留意してください。
4. 全ての指示に従って下さい。
5. 本機を水の傍で使用しないで下さい。
6. 柔らかく乾いた布か湿った布で製品表面の汚れた部分を拭き取ります。
   (アルコール成分、溶剤、界面活性剤や油分を含む洗剤や化粧品を使用しないでください。製品の変形や損傷につながる恐れがあります。)
7. どの換気孔も塞がないようにして下さい。メーカーの指示に従って取り付けて下さい。
8. ラジエーター、熱レジスタ、あるいは熱を発するその他の装置（アンプを含む）などの熱源の傍に設置しないで下さい。
9. 分極タイプあるいは接地タイプのプラグの安全目的を必ず守ってください。 分極プラグには一方が他方より幅広い2本の足が付いています。 接地プラグには2本の足とアース（接地）差込み先が付いています。2本の平たい足あるいは3本めの差込み先はユーザーの安全のために付いています。提供されたプラグがお使いのコンセントに合わない場合には、旧式のコンセントの交換について電気技師にご相談下さい。
10. 特にプラグ、ソケット、機器との接点でコードが踏まれたり引っ張られたりしないよう電源コードを保護してください。
11. メーカーが指定する付属品のみを使用してください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケットはメーカー指定のもの、あるいは製品と一緒に販売されたもののみを使用してください。 カート使用する場合、カートと製品を動かす際には転倒による損傷に注意してください。



13. 雷雨のときまたは長期間使用しないは場合は、製品の電源プラグを抜いてください。
14. 全ての修理は資格のあるサービス・スタッフに任せて下さい。修理は電源コードあるいはプラグの損傷、液体をこぼした、または物体を機器内に落としてしまった、機器を雨や湿度にさらしてしまった、正常に機能しない、あるいは機能の低下など、様々な原因で機器が損傷した場合に必要となります。
15. 本製品は、「Class 2」または「LPS」、「PS2」と表示され、12 Vdc、1.77AまたはPoE(48 Vdc)、0.27A定格の正規認定電源(Listed Power Supply Unit)から電源を供給する必要があります。
16. 本製品接続の外部電源は、絶縁電源を使用してください。
17. 規格に合わない工具を使用して無理にインターコムを取り付けると、インターコムが破損する可能性があります。
18. 化学物質やオイルミストが存在する、または生成される可能性のある場所には製品を取り付けないでください。大豆油のような食用油によって製品が損傷を受けたりゆがんだりするため、キッチンやキッチンテーブル付近には製品を取り付けないでください。
    製品に損傷を与える原因となります。
19. 製品を取り付ける場合、製品表面が化学物質で汚染されないように注意してください。
    クリーナーや接着剤のような化学溶剤は、製品表面に深刻な損傷を与える原因となります。
20. 推奨されない方法で製品を取り付け/取り外した場合、製品の機能/性能は保証できません。
    ユーザーマニュアルの"取付けと接続"を参照して製品を取付けます。
21. 水中での製品の取付けや使用は、製品への深刻な損傷の原因となります。
22. 急激な温度変化が発生する場合、ドーム内部に霧が発生することもありますが、映像には問題ありません。
23. 本デバイスはSTPケーブルを使用して検証されました。過渡電圧、落雷、通信妨害から効果的に製品や資産を保護するために適切なGND接地とSTPケーブル使用をお勧めします。
24. 製品の作動温度は-40℃～+55℃です。

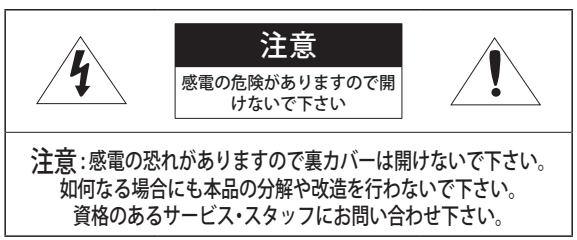
警告

火災または感電防止のため、この装置を雨または湿気にさらさないでください。本製品の換気グリルまたはその他の開口部から金属製物質を差し込まないでください。

製品に液体をこぼしたりかけたりせず、また花瓶のように液体が入った物体を製品の上に載せたりしないでください。

損傷を防止するため、本製品を設置説明に従って壁/天井にしっかりと取り付けてください。

注意



グラフィック記号の説明



正三角形内の稲妻型の矢印は、本製品の筐体に人が感電する恐れのある"高圧電流"が存在することを、ユーザーに警告するものです。



正三角形内の感嘆符は、製品の操作およびメンテナンス（修理）に関する重要な付属説明書があることをユーザーに知らせるこものです。

クラスI構造
クラスI構造を持つ装置は保護接地接続のある本線ソケットに接続してください。

バッテリー
電源(バッテリーパックまたは取り付けた状態のバッテリー)は直射日光の当る場所や、熱器具の近くには置かないでください。

バッテリーは交換できません。

バッテリーの誤用禁止

- 誤ったタイプのバッテリーを設置して使用しないでください。
- バッテリーが爆発するおそれがあるため、機械で圧力を加えたり切断したりしないでください。
- 高温環境にバッテリーを放置しないでください。
- 低圧環境にバッテリーを放置しないでください。

デバイスの切断
問題がある場合は、装置からメインプラグを抜きます。次にお住まいの地域の修理会社に電話してください。

米国外では、認証機関が採用している取付け金具用のHARコードが使用される場合があります。

注意
これらの保守説明書は、資格のあるサービススタッフのみが使用するものです。
感電の危険性を低減するために、資格がある場合を除き操作説明書に含まれていない修理は行わないでください。

入力電源は1台のカメラにのみ使用し、他のデバイスを接続しないでください。

電源ターミナルブロックを接続する前、電源プラグはコンセントから外してください。

ITEは、外部の施設へルーティングなしで、PoEネットワークのみに接続することになっています。

次に示す安全のための推奨注意事項を熟読してください。

- 本製品は平らな場所に置いてください。
- 直射日光の当たる場所、暖房設備または低温区域の近くには取付けないでください。
- 本製品を導電性の高い物体の近くに置かないでください。
- 本製品は自分で修理しないでください。
- 本製品の上に水の入ったコップを置かないでください。
- 磁気源のそばに取付けないでください。
- 換気口は塞がないようにしてください。
- 本製品の上に重いものを置かないでください。
- カメラを取り付ける/取り外すときは、保護手袋を着用してください。
  製品表面は高温になるため、やけどの原因となる場合があります。

ユーザーマニュアルは、本製品の使用方法に関するガイドブックです。

このマニュアルで使用する用語の意味を次に示します。

- 参照: 製品の使用方法についてのヘルプ情報を示す場合。
- 注意: 指示に従わないことで、ものや人に損害が発生する可能性がある場合。

※ 製品を使用する前に安全のためこのマニュアルを読み、大切に保管しておいてください。

当社は別途に購入した他社の製品(レンズ、アクセサリー)に対する品質は保証いたしません。

特定なインストール環境で無線通信に干渉が発生する場合があります。
製品と周囲の無線通信デバイスの間に電磁波干渉が発生する場合、無線通信デバイスとの間隔を拡張したり、通信用のアンテナ方向を調整することをお勧めします。

目次

概要 3
3
3 重要な安全ガイド
6 推奨する PC 仕様
6 推奨マイクロSD/SDHC/SDXCメモリカード仕様
6 SIP推奨企業 (VoIP、Peer-to-Peer、SIP/PBX)
6 NAS推奨仕様

取付けおよび接続 7
7
7 キット内容
8 設置関連の別売品
9 各部の名称と機能
11 取付け
16 SIPビデオ通話を使用する
18 他のデバイスとの接続

ネットワーク接続と設定 26
26
26 サウンドディテクターを直接LANに接続する
26 カメラを直接DHCPベースのDSL/ケーブルモデムに接続する
27 ConfigPro を使用する
27 サーバーを実行する
27 自動的にインターコムを検索する
27 IPアドレスを設定する
29 手動でインターコムを登録する
29 自動にIPを設定する
29 ートフォワード（ポートマッピング)の設定
30 共有ローカルPCからインターコムへの接続
30 リモートPCからインターネット経由でのインターコムへの接続

WEB VIEWER 31
31
31 インターコムに接続する
32 パスワード設定
32 ログイン
32 カメラ・ウェブビューアーの設定

付録 33
33
33 トラブルシューティング

推奨するPC仕様

- CPU：Intel(R) Core(TM) i7 3.4 GH以降
- RAM : 8G以上
- 推奨するブラウザ：Chrome
- サポートするブラウザ：Chrome, Safari, Firefox, MS Edge(chromium based)
- 対応OS : Windows, Mac, Linux, Android, iOS, Chrome
- 検証環境
  - Windows10：Chromeの最新バージョン、Firefoxの最新バージョン、Microsoft Edgeの最新バージョンおよびサポート中のバージョン
  - MacOSの最新バージョンおよびサポート中のバージョン
    参考) https://en.wikipedia.org/wiki/MacOS

※ ウェブビューアのビデオ再生性能はユーザーのCPU/GPU性能に基づく。

推奨マイクロSD/SDHC/SDXCメモリカード仕様

- Hanwha Visionメモリーカード : SPP-E128G, SPP-E256G, SPP-E512G, SPP-E10T
- 推奨容量 : 推奨容量：16GB～1TB(MLCタイプ推奨)
- 推奨メーカー・製品群：
  - SanDisk / High Endurance, MAX ENDURANCE
  - Western Digital / Purple QD101
  - Transcend / High Endurance

SIP推奨企業 (VOIP、PEER-TO-PEER、SIP/PBX)

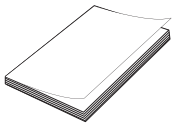
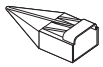
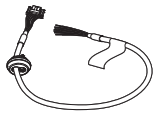
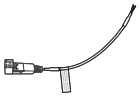
- Grandstream製品でテスト済みです。

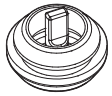
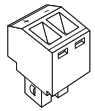
NAS推奨仕様

- 推奨容量 : 200GB又はそれ以上を推奨します。
- このカメラのために、NASを以下の製造仕様で利用することを推奨します。
  推奨製品 : QNAP NAS, Synology NAS

キット内容

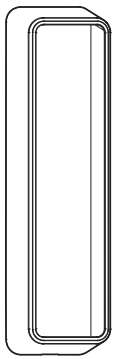
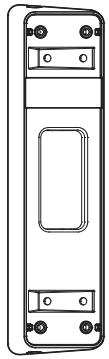
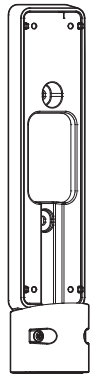
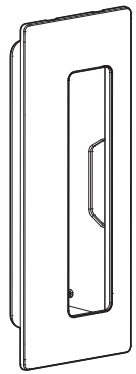
製品パッケージに、カメラと付属品がすべて同梱されていることをご確認ください。
(販売国ごとに付属品が異なるため。

外観	品目名	数量	説明
	インターコム	1	
	クイックガイド (オプション)	1	
	Torx Lレンチ	1	製品分解、組み立て時に使用
	キャップインストーラー	1	RJ45ネットワークケーブル接続時に使用
	アラームケーブル	1	アラーム接続時に使用
	電源ケーブル	1	電源端子台接続時に使用

外観	品目名	数量	説明
	ケーブルブッシング	1	ネットワークケーブル接続のためのスペア用ケーブルブッシング
		1	電源およびアラーム端子台接続のためのスペア用ケーブルブッシング
	電源ターミナルブロック	1	電源入力端子(DC 12V)

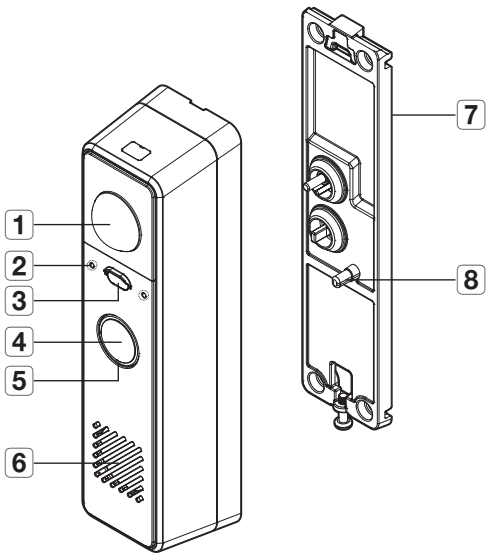
設置関連の別売品

設置場所によっては、次の別売品をご購入いただく必要があります。

タイプ	スキンカバー	チルトマウント	バックボックス	埋め込み用マウント
モデル名	SBC-1990W (ホワイト)	SBS-1990TM	SBS-1990B	SHS-1990F
				

各部の名称と機能

外部



名称	機能説明
1 レンズ	インターコムのカメラレンズです。
2 内蔵マイク	内蔵マイクで音を認識します。
3 白色LED	通話やイベント発生時に周囲を照らす補助光として使用されます。
4 呼び出しボタン	通話用のボタンです。
5 LED状態ランプ	LEDインジケータライトは、動作状態に応じて色が表示されます。*
6 スピーカー	インターコムと接続された機器から送信された音声を出力します。
7 マウントプレート	インターコムを接続する時、接続面に固定させる部位です。
8 タンパリングスイッチのプッシュピン	タンパリングスイッチで製品ケースの分離状態を検知できます。

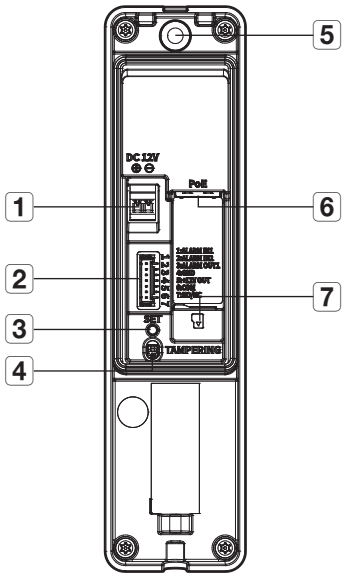
* LED ステータス
LEDの色は動作状態によって異なります。LEDインジケータライトの詳しい意味は以下の表をご覧ください。

色	LED状態	インターコム動作
青	点灯	通常時
青	ちらつき	呼び出しボタン押下と通話待機
青	ゆっくり点滅	通話中
緑	点灯	リレー起動
赤/オレンジ	点灯	インターコム起動中
赤	ちらつき	通信エラー
白	点灯	ファームウェアアップデート中

* Cloudサービス登録モード時

色	タイプ	状態
黄色	ゆっくり点滅	接続中
緑	ゆっくり点滅	接続完了 機器登録待機中
緑	点灯	機器認証完了 (LEDは5分後に消灯)
赤	点灯	接続失敗
赤	ちらつき	通信エラー
白	点灯	自動ファームウェア更新

内部



名称	機能説明
1 電源入力端子(DC 12V)	電源ターミナルブロックと接続する端子です。
2 アラームケーブル接続ポート	電気ドアロックを含むアラーム入/出力装置を接続する際に使用する端子です。

ピン番号	ラベル	機能説明
1	ALARM IN 1	デジタルアラーム入力1
2	ALARM IN 2	デジタルアラーム入力2
3	ALARM OUT 1	デジタルアラーム出力1
4	GND	アラーム入力1(ピン1)、入力2(ピン2)、アラーム出力2(ピン7)、または共通(ピン6)と一緒に使用するグランドです。
5	12V OUT	インターコムが外部12 V DC電源から給電される場合、さまざまなI/O構成に使用できる+12 V DC出力。PoEで電源が供給されている場合、ピン5は無効になります。
6	COM	アラーム出力2(ピン7)と一緒に様々な構成で使用される共通ピンです。
7	NO/NC (アラーム出力2)	アラーム出力2(ピン7)は、無電圧接点(ドライ接点)リレーとして使用されます。

* 結線図は19~25ページをご覧ください。

名称	機能説明
3 SETボタン	SETボタンを約5秒間押すと、インターコムの設定が工場出荷時の状態に初期化され、再起動します。 ! インターコムをリセットするとネットワーク設定はDHCPを使用するように変更されます。ネットワーク内にDHCPサーバーがない場合は、ConfigProプログラムを利用して基本的なネットワーク設定(IP Address、Subnet Mask、Gatewayなど)をやり直す必要があります。
	SETボタンを素早く3回押して(6秒以内)、Cloudサービス登録モードを実行します。
4 タンパリングスイッチ	物理的な破損や盗難時にアラームを発生させるためのセンサーモジュールです。 この機能を使用するには、Web Viewer設定メニューで<ケーステンパリング>を<使用>に設定します。
5 ゴアシート	シートが貼ってある穴の防水、防湿のためのシートです。 ! 防水のためのシートなので、絶対に外さないでください。
6 ネットワーク端子	PoEやイーサネットケーブルを介してネットワークと接続する端子です。
7 Micro SDカードスロット	Micro SDカードを挿入する端子です。

取付け

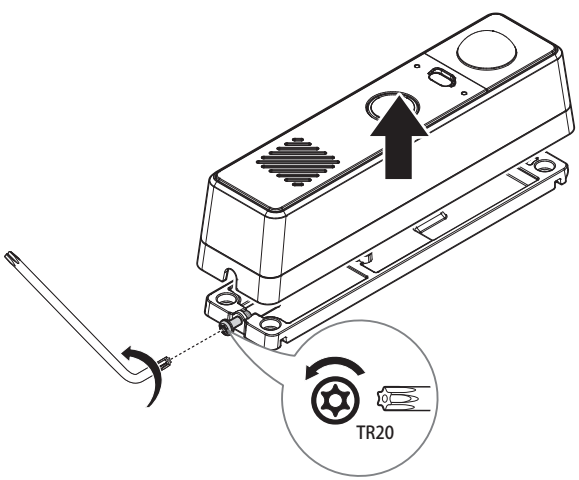
設置前の注意事項

製品を設置する前に、下記の注意事項を必ずご確認ください。

- 製品の重さの5倍を耐えられる場所に設置してください。
- ケーブルが適切でない場所に挟まったり、電線の被覆が損傷した場合、製品の故障や火災につながるおそれがありますので、ご注意ください。
- インターコムを設置する際、他の人が設置場所に近づくことがないようにしてください。設置場所の下に貴重品がある場合は必ずどけてください。
- "無理やり力を加えて製品を設置する場合、誤動作により製品に損傷を与えることがあります。規格に合わない道具を使用して無理やり取り付ける場合、製品が壊れる可能性があります。"

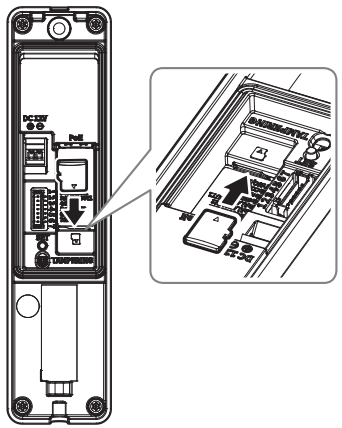
取り外す

1. 同封されているTorx Lレンチで2つのネジを反時計回りに回して緩め、ドームカバーを取り外してください。



Micro SDメモリーカードの取り付け/取り外し

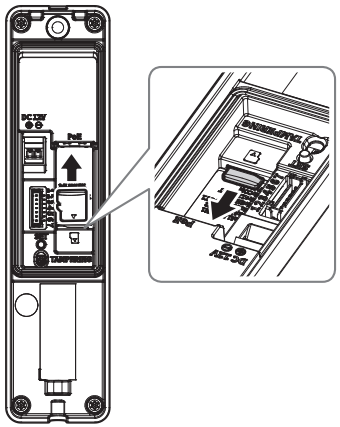
インターコム本体のMicro SDカードスロットにMicro SDカードを矢印に沿って入れます。



- インターコムを設置する前に電源と本体を分離した状態でMicro SDカードを入れてください。
- 間違った方向に無理に挿入しないでください。Micro SDカードが破損する可能性があります。
- 雨の日や湿度の高い日には、SDの取り付けや取り外しをお勧めしません。
- 製品外観カバーの分解は5分以内に完了してください。そうしないと、内部結露の原因となります。
- SDカードを奥まで差し込み、カチッと音がしたら固定されているか確認してください。SDカードが奥までしっかり差し込まれていないと正常に認識されない場合があります。

Micro SDメモリーカードの取り付け/取り外し

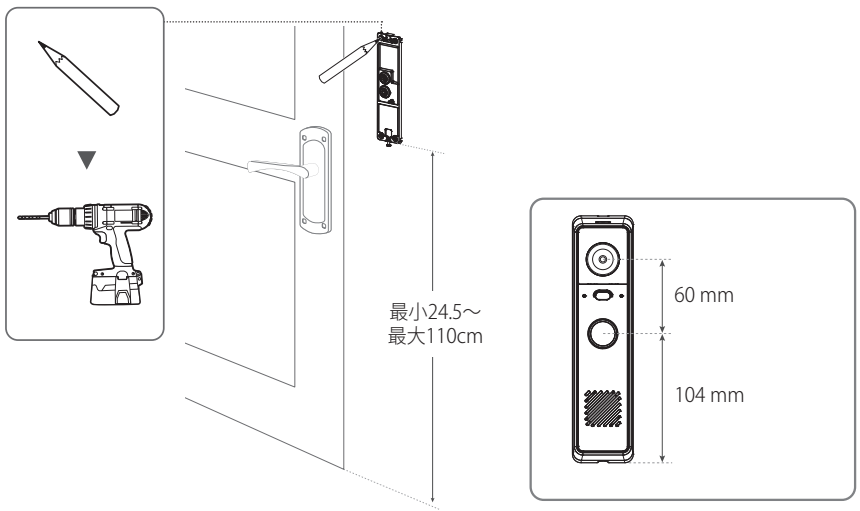
図のように、矢印の方向に差し込まれたMicro SDカードの先端を軽く押すと、自動的に出てきます。

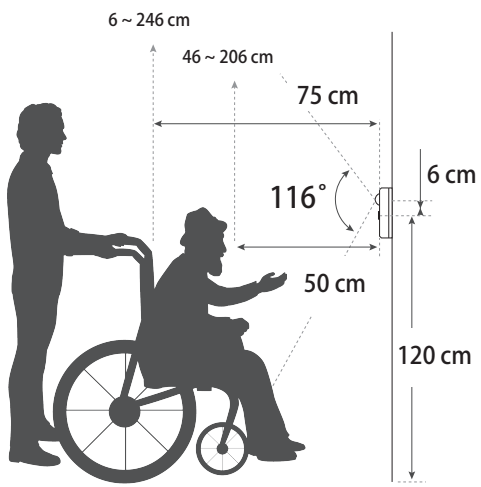


- Micro SDカードを取り外す前に、<**設定(⚙)**> - <**イベント**> - <**ストレージ**>でデバイスを<**Off**>に設定し、<**適用**>ボタンを押してカメラをオフにします。
- カメラのスイッチを切るか、データの入っているMicro SDカードを製品から抜くと、データが失われるか、または損傷を受ける場合があります。

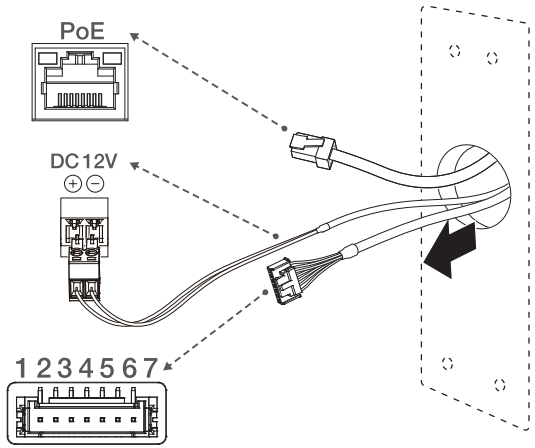
壁に設置する

1. モニタリングする方向を考慮して任意の場所にマウントプレート当て、ネジ穴の位置を表示した後、穴を開けてください。

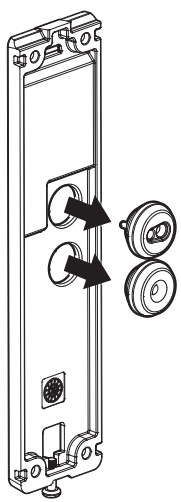




2. オーディオ・アラーム・電源ケーブルとネットワークケーブルをマウントプレートの穴に通します。



3. 下部カバーからケーブルブッシングを取り除いてください。

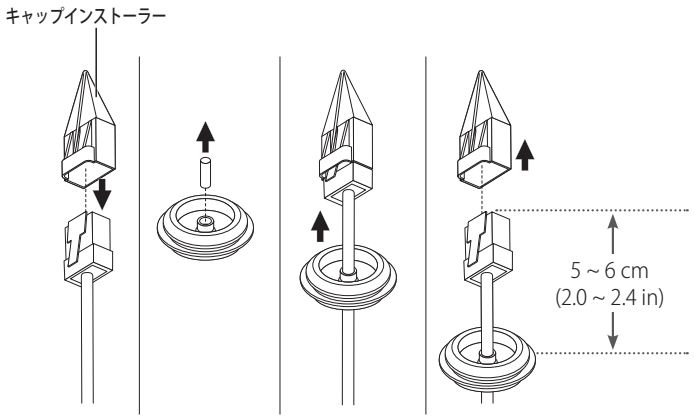


[ネットワークケーブルの設置]

- 直径Ø5~6.5のネットワークケーブルを使用してください。

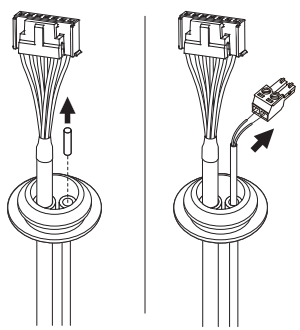
4. 分離したケーブルブッシングの突出部を取り外します。

5. キャップインストーラーを使ってネットワークケーブルを通します。



[電源とアラーム入出力ケーブルを設置する]

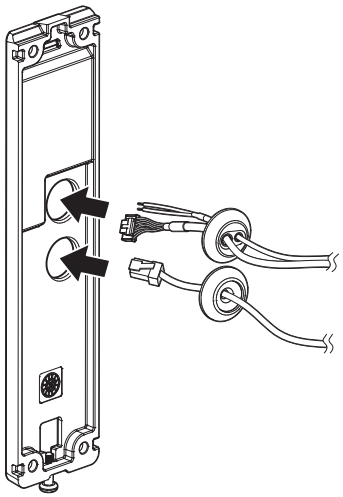
6. (DC 12 V電源を使用する場合) 電源ケーブルをケーブルブッシングの小さな穴に通し、付属の端子台に接続してください。



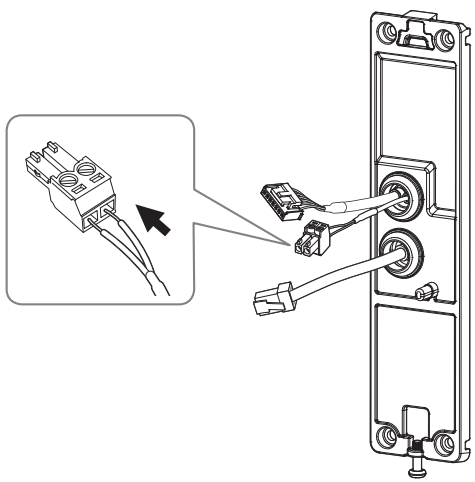
- 電源入力をPoEのみに接続する場合、ケーブルブッシングの小さな穴の突起は開けないでください。
- 必ず付属のDC電源ケーブルとアラームケーブルを使用してください。

取付けおよび接続

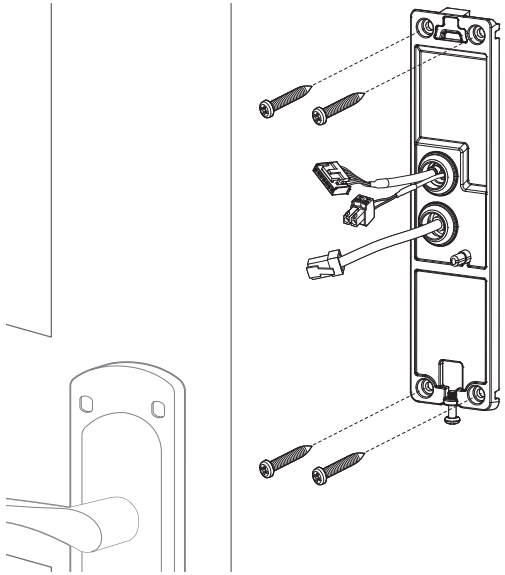
7. アラームケーブルのブッシングはマウントプレートの上部の穴に、ネットワークケーブルのブッシングは下部の穴に差し込みます。



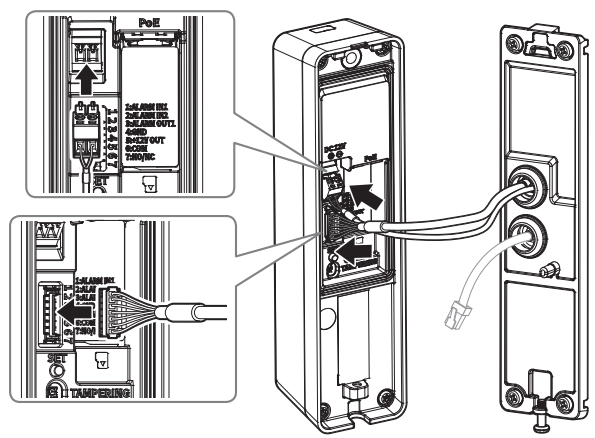
8. 電源端子台を電源ケーブルに接続してください。



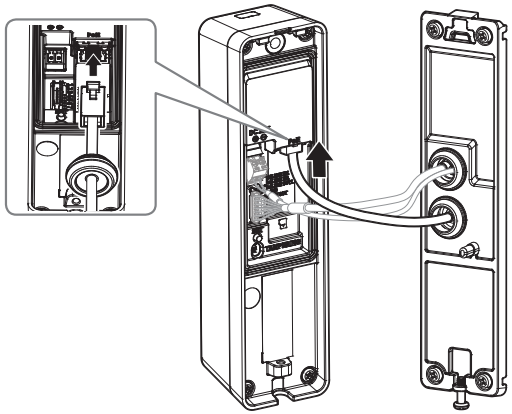
9. 適切なネジを使ってマウントプレートを固定します。(M4.5xL50)



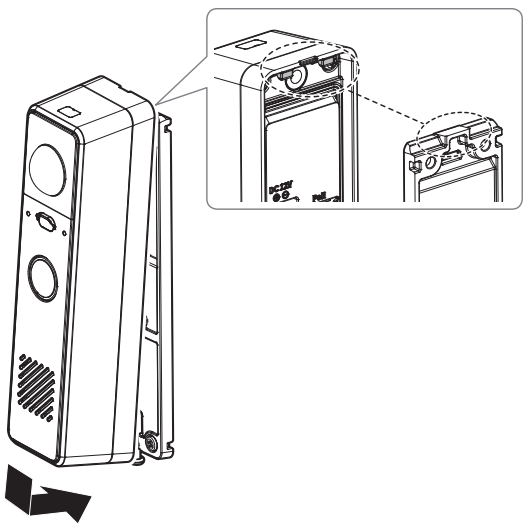
10. アラーム端子台と電源端子台を各端子に接続してください。



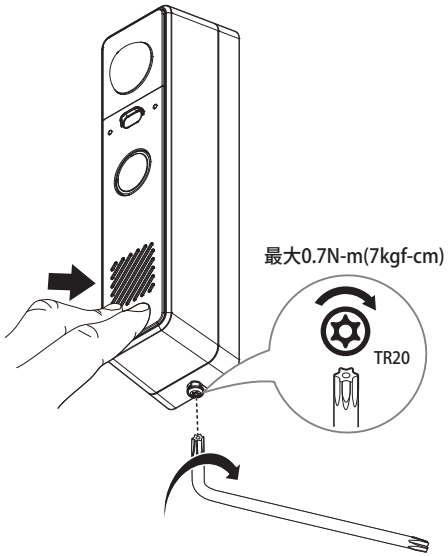
11. ネットワークケーブルをPoE+ポートに接続してください。



12. インターコム本体をマウントプレートに取り付けます。



13. インターコム本体の下部を押しながら固定ネジを締めてください。



SIPビデオ通話を使用する

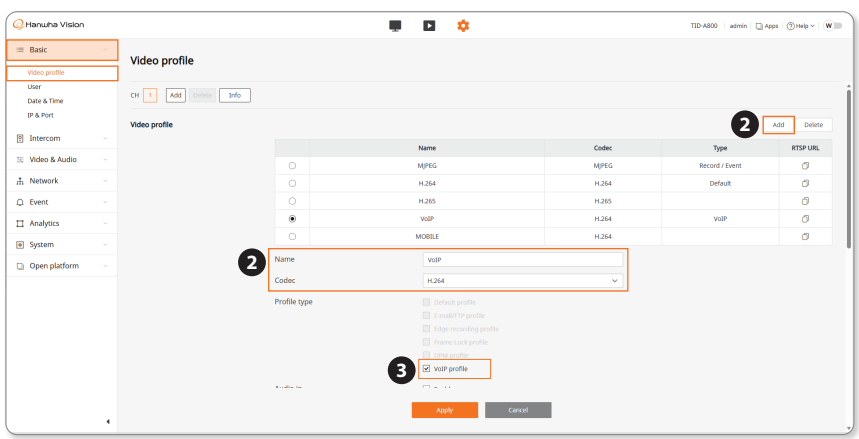
インターコムでSIPビデオ通話機能を利用するには、以下の4つの項目をすべて設定する必要があります。
未設定項目が一つでもある場合、SIPビデオ通話を行うことができず、すべての設定が完了した後は、ビデオ通話テストを行い、正常に動作するかどうかを確認してください。

必須設定項目

- VoIPビデオプロファイル登録
- SIP機能を有効にする
- アカウント登録
- 受信者登録

VoIPビデオプロファイルを登録する

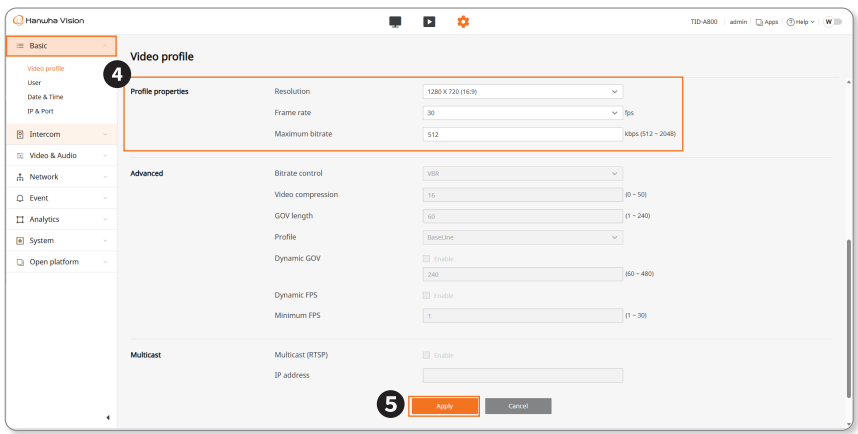
1. ウェブブラウザのアドレスバーにインターコムのIPアドレスを入力してください。
2. <**設定** ( )> - <**Basic**> - <**Video Profile(ビデオプロファイル)**>の[**Add(追加)**]ボタンをクリックして、VoIP用のビデオプロファイルを追加してください。
3. <**Profile type(プロファイルタイプ)**>で<**VoIP profile(VoIPプロファイル)**>をチェックしてください。



4. <**Profile properties(プロファイル設定)**>の3つの項目は、接続するクライアント機器の仕様に合わせて設定してください。

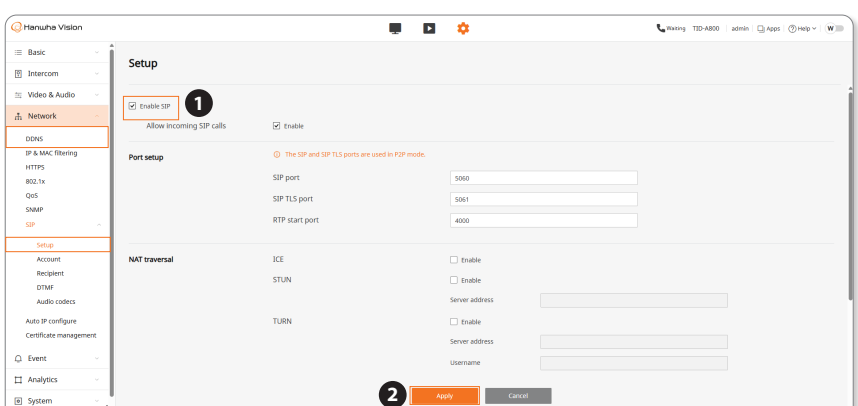
> ▪ クライアント機器(例えば、テレビ電話)がサポートしていない値を設定した場合、インターコムから送信された映像を受信できない場合がありますので、必ずその機器の製品仕様を確認してから設定してください。

5. 画面下部の[**Apply(適用)**]ボタンをクリックして設定を完了してください。



SIP機能を有効にする

1. <**設定** ( )> - <**Network(ネットワーク)**> - <**SIP**> - <**Setup(設定)**>で<**Enable SIP(SIP使用)**>をチェックしてください。
2. 画面下部の[**Apply(適用)**]ボタンをクリックして設定を完了してください。

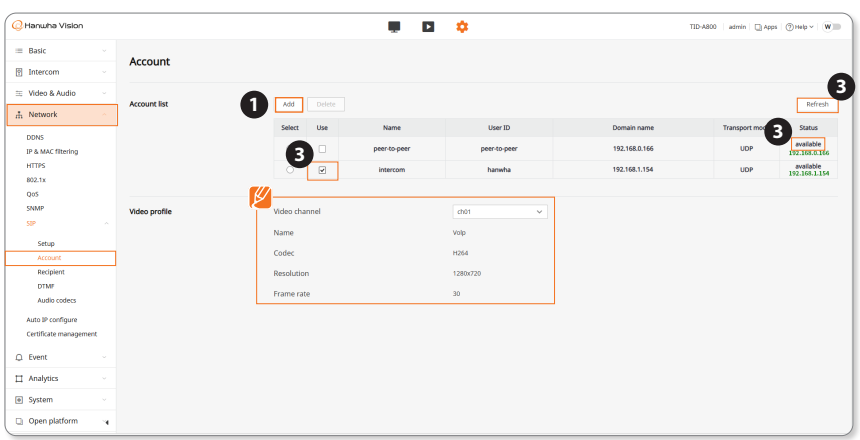


アカウントを登録する

1. <**設定** (⚙)> - <**Network(ネットワーク)**> - <**SIP**> - <**Account(アカウント)**> - <**Account list(アカウントリスト)**> で[**Add(追加)**]ボタンをクリックします。
2. <**Add account(アカウントの追加)**> ダイアログボックスでアカウント関連情報を入力し、[**OK**] ボタンをクリックします。
3. リストから登録されたアカウントの<**Use**(使用)>をチェックしてください。
   - リストの<**Refresh(更新)**>ボタンをクリックして、<**Status(ステータス)**>項目が<**Available(使用可能)**>に変更されることを確認してください。



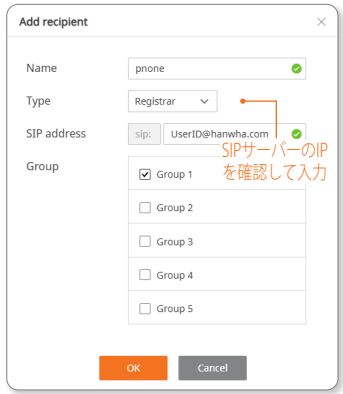
- [**Refresh(更新)**]ボタンをクリックすると、サーバーのネットワーク環境によって反映時間が数秒程度かかる場合があります。
- ID、パスワード、ドメイン名が間違って入力された場合、<ステータス>が<**Unavailable**>と表示されます。
- 各用語の詳しい説明は、ウェブビューアの<ⓘ **ヘルプ**>をご覧ください。

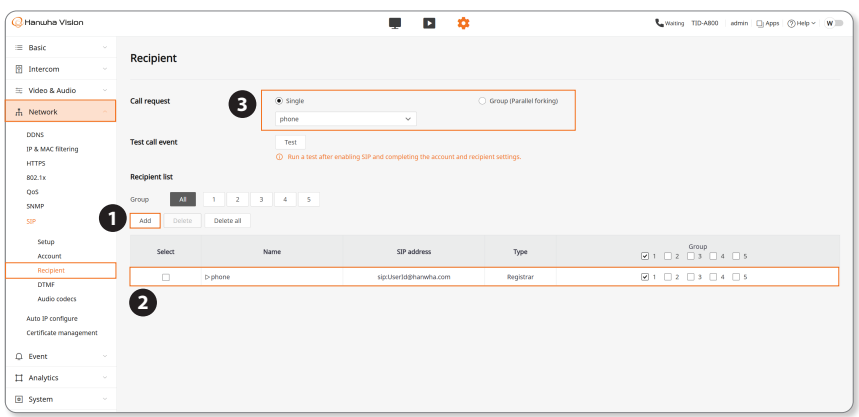


- <**Video Profile(ビデオプロファイル)**>欄にVoIP用プロファイル情報が表示されない場合は、16ページの「VoIPビデオプロファイルを登録する」を参照してください。

受信者登録する

1. <**設定** (⚙)> - <**Network(ネットワーク)**> - <**SIP**> - <**Recipient(受信者)**> - <**Recipient List(受信者リスト)**>で[**Add(追加)**]ボタンをクリックします。
2. <**Add recipient(受信者の追加)**> ダイアログボックスで受信者情報を入力し、<**OK**> ボタンをクリックします。
3. <**Call request(通話要請**>で登録された受信者を選択してください。



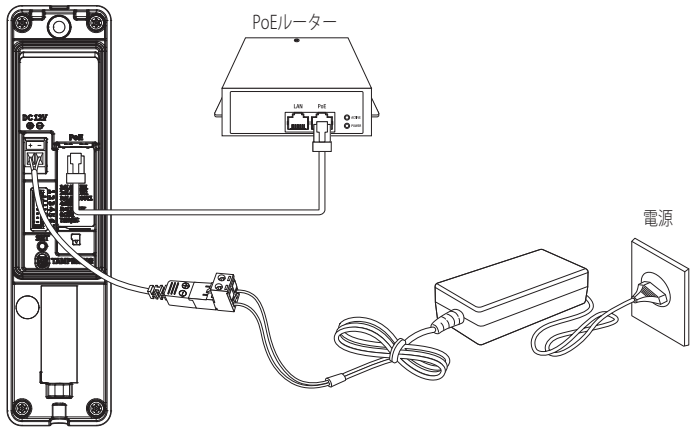


ビデオ通話をテストする

4つの項目設定がすべて完了したら、インターコムの呼び出しボタンを押して、映像通話が正常に接続されているか確認してください。

- インターコムと映像通話を送受信する機器(VoIP電話)は、その機器の設定を完了した後、あらかじめサーバーに接続する必要があります。

他のデバイスとの接続



イーサネットを接続する

イーサネットケーブルを接続し、ローカルネットワークやインターネットに接続します。

電源とネットワーク接続

PoEデバイスをインターコムのネットワーク端子に接続します。

- PoE+機能のあるルーターを使用してください。
- PoE+機能付きのルーターを使うと別途の電源が必要ありません。
- PoE(Power over Ethernet)は、IEEE IEEE802.3af規格をサポートするデバイスを使用してください。

電源の接続

電源アダプタの、線をドライバーを使用して付属の電源端子台に接続し、インターコムの電源入力端子に差し込んでください。

- PoE+、DC 12V電源を同時に使うと機器の電源はPoE+、DC 12V同時に使われます。
- DC 12Vは極性がありますので、注意して接続してください。
- 外部機器を接続する場合は、必ず接続するデバイスの電源を切った状態で接続してください。
- 電気ドアストライクと接続して使用するには、DC12V電源接続が必要です。

電源線規格

DC 12V入力のとき：

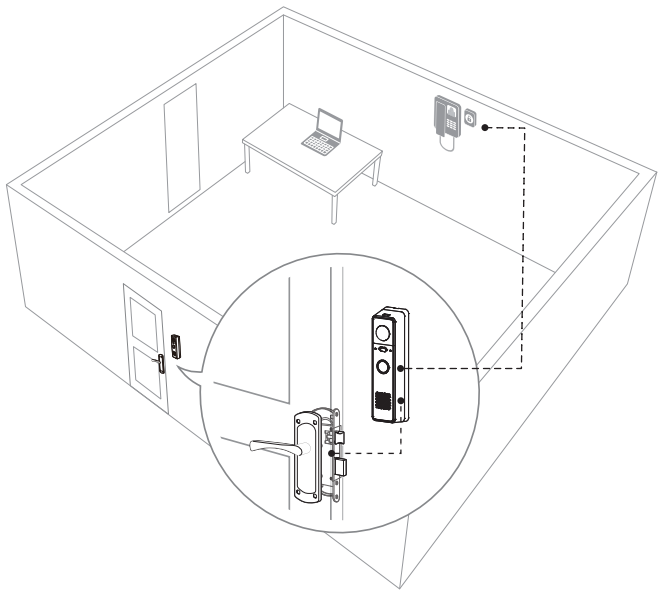
ワイヤータイプ(AWG)	#18	#16
ケーブル長(最大)	11 m (36.09 ft)	18 m (59.06 ft)

ネットワークケーブル規格

項目	メッセージ	備考
コネクタ	RJ45 (10/100BASE-T)	
イーサネット	10/100BASE-T	
ケーブル	Category 5e以上	
最大距離	100 m	DCの抵抗の≤ 0.125 Ω/m
PoE対応	IEEE 802.3af	

- STPケーブルを使用すると、落雷時の安定性をより高められます。

電気ドアストライクを接続する

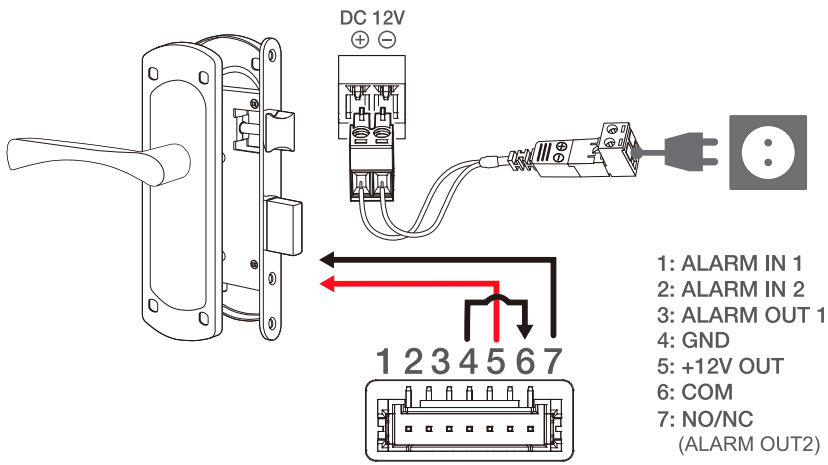


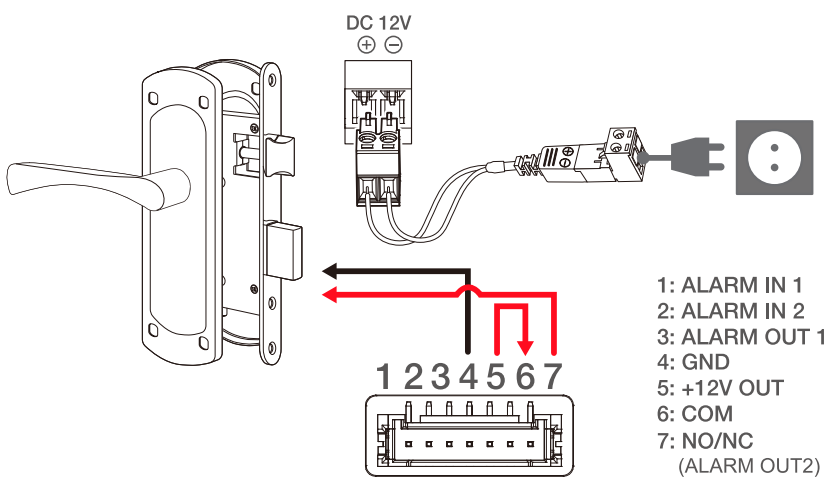
- 電気ドアストライクをインターコムとして動作させる場合は、DC12V電源を接続してください。PoE電源のみを供給される場合、電気ドアストライクは動作しません。
- Alarm out No.2（NO/NC端子）から供給可能な最大電力はDC12V / 550mAです。
- PoEを使用せずにDC12V電源のみを使用する場合は、DC12V / 最低1.77A以上の電源が必要で、DC12V / 2A以上の使用を推奨します。
- 電気ドアストライクとインターコムの接続ケーブルの長さと太さは、電気ドアストライクのメーカー推奨仕様を参照してください。
- インターコムにPoEのみ接続した場合：インターコムのみ動作し、電気ドアストライクは動作しません。
- インターコムにPoE & amp; DC 12V電源アダプタを接続した場合：インターコムと電気ドアストライクの両方がDC 12V電源アダプタから電力を供給されて動作します。DC 12V/1.77A
- インターコムに100MbpsイーサネットLANケーブルとDC12V電源アダプタを接続した場合：インターコムと電気ドアストライクは共にDC12V電源アダプタから電力を供給されて動作します。DC 12V/1.77A

電気ドアストライク結線図（ウェブビューアまたはVoIP電話による制御方式）

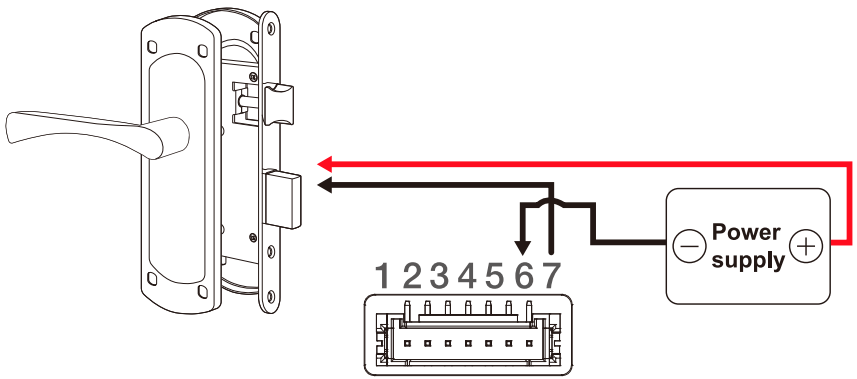
- ドアスクライクタイプによってインターコムのウェブビューアの設定が変わります。

▪ TID-A800で電源を供給されるドアストライク

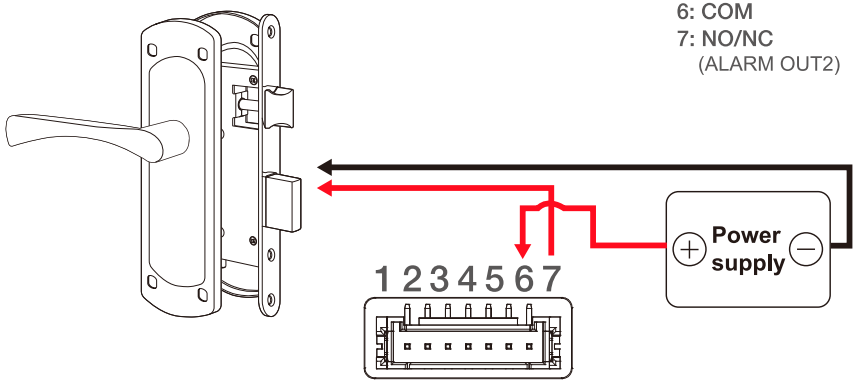




- **電源で動作するドアストライク**

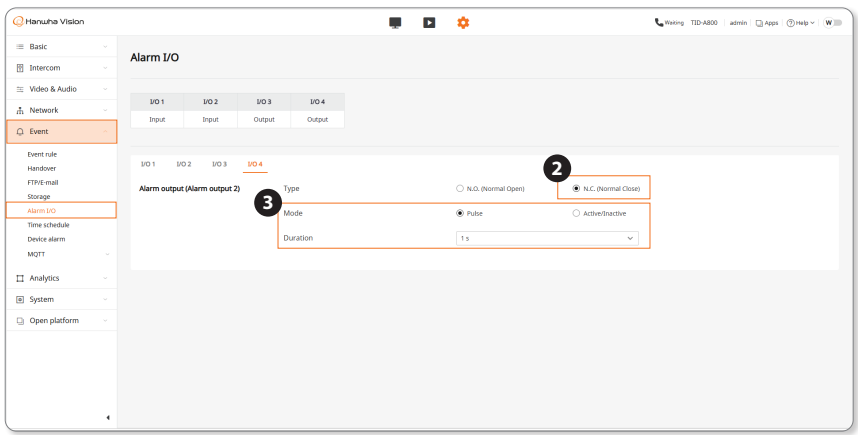


1: ALARM IN 1
2: ALARM IN 2
3: ALARM OUT 1
4: GND
5: +12V OUT
6: COM
7: NO/NC
(ALARM OUT2)



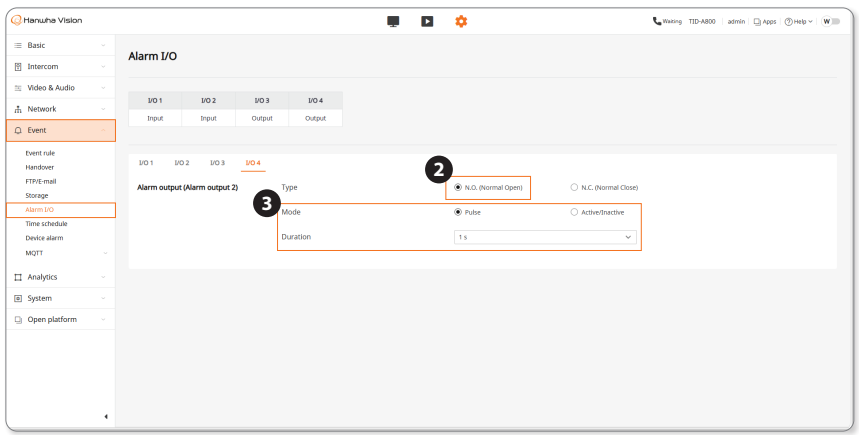
フェイルセーフタイプのドアストライク使用時の設定方法

1. ウェブブラウザのアドレスバーにインターコムのIPアドレスを入力してください。
2. <**設定** (⚙)> - <**Event(イベント)**> - <**Alarm I/O(アラーム入/出力)**> - <**I/O 4**>で<**Type(タイプ)**>を<**N.C. (Normal Close)(N.C. (ノーマルクローズ)**>に設定します。
3. ドアが開いている時間を調整するには、<**Mode(モード)**> - <**Pulse(パルス)**>を選択し、<**Duration(実行時間)**>を希望の時間に設定してください。
   - 設定された時間だけドアが開いた後、自動的に閉じます。



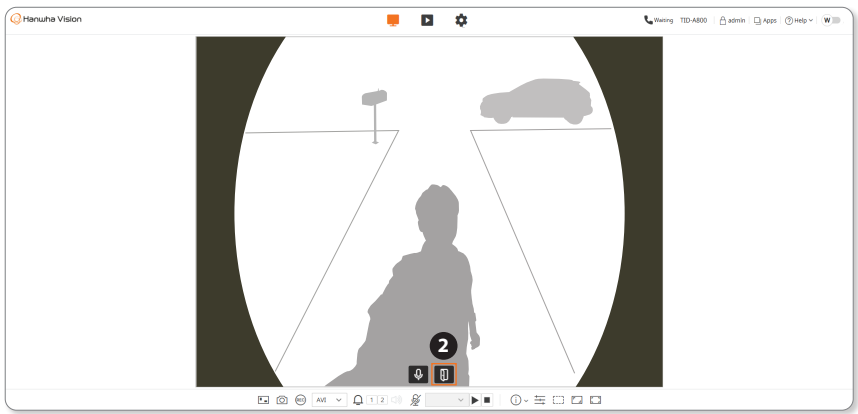
Fail-Secureタイプのドアストライク使用時の設定方法

1. ウェブブラウザのアドレスバーにインターコムのIPアドレスを入力してください。
2. <**設定** (⚙)> - <**Event(イベント)**> - <**Alarm I/O(アラーム入/出力)**> - <**I/O 4**>で<**Type(タイプ)**>を<**N.O. (Normal Open)(N.O. (ノーマルオープン)**>に設定します。
3. ドアが開いている時間を調整するには、<**Mode(モード)**> - <**Pulse(パルス)**>を選択し、<**Duration(実行時間)**>を希望の時間に設定してください。
   - 設定された時間だけドアが開いた後、自動的に閉じます。



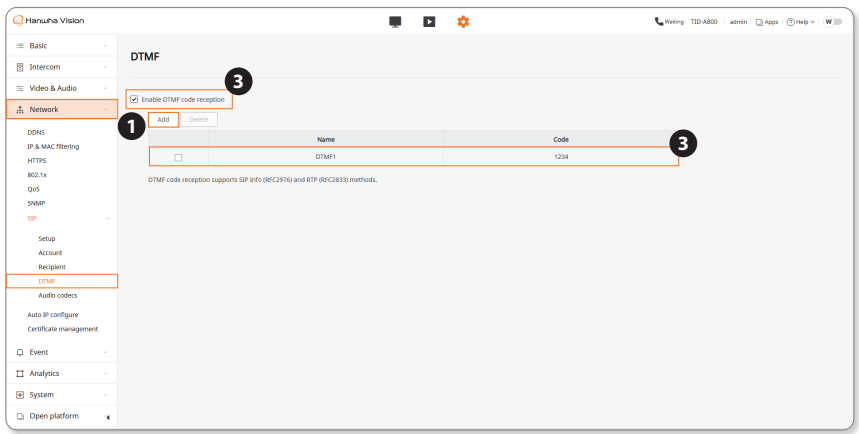
ウェブビューアでドアを開く

1. ドアストライクタイプに応じて<**Alarm output(Alarm output 2)(アラーム出力(アラーム出力 2)**>と<**Duration(実行時間)**>を設定してください。
2. ウェブビューアのライブ画面で< 🚪 >アイコンをクリックしてください。
   - 設定された時間だけドアが開いた後、自動的に閉じます。



VoIP電話からDTMFコードでドアを開ける

1. <**設定** (⚙)> - <**Network(ネットワーク)**> - <**SIP**> - <**DTMF**>の[**Add(追加)**]ボタンをクリックしてください。
2. <**Code(コード)**>に実際の電話のキーパッドで入力する数字を設定します。
   - DTMFコードは、SIPデバイスがDTMF(Dual-Tone Multi-Frequency)信号を使用して、リモートでドアを開けたり、特定のイベントを実行するために使用されます。
   - イベントルールは <**Event(イベント)**> - <**Event rule(イベントルール)**> メニューから設定できます。
3. <**Enable DTMF code reception(DTMFコード受信使用)**> を選択すると、<**Code**(コード)> で設定したDTMF コード受信機能が有効になります。

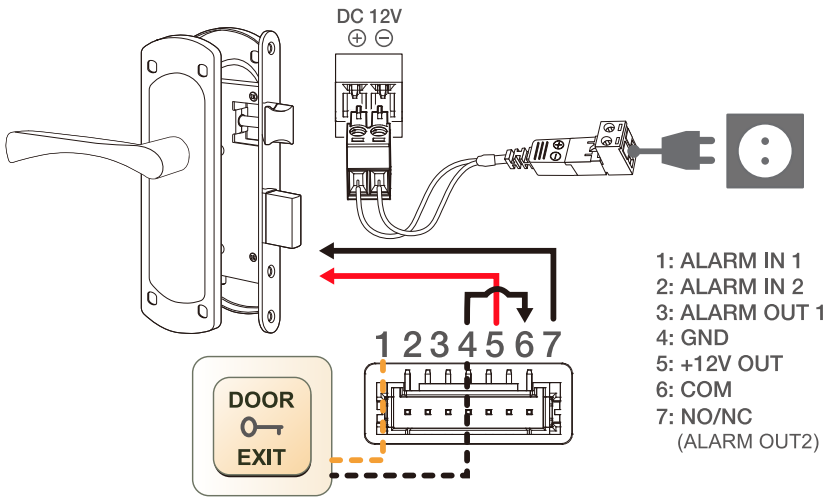


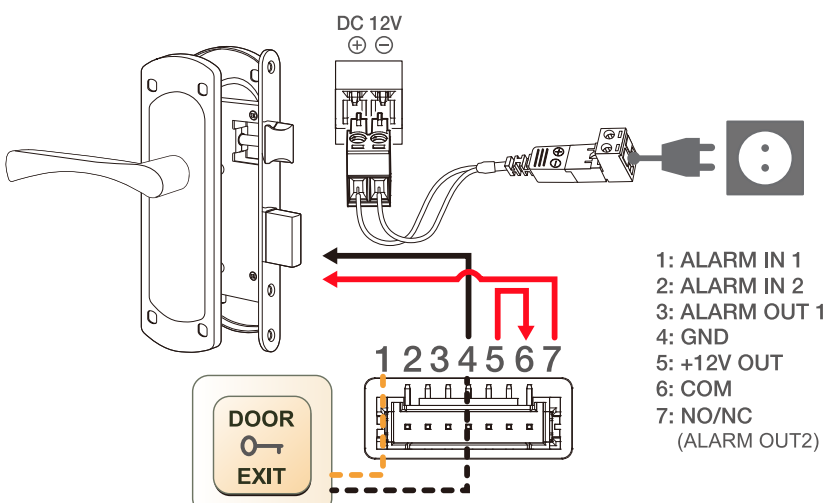
■ DTMF code受信は、SIP Info (RFC2976)とRTP (RFC2833)タイプに対応します。

電気ドアストライク結線図(ドアオープンボタンによる制御方式)

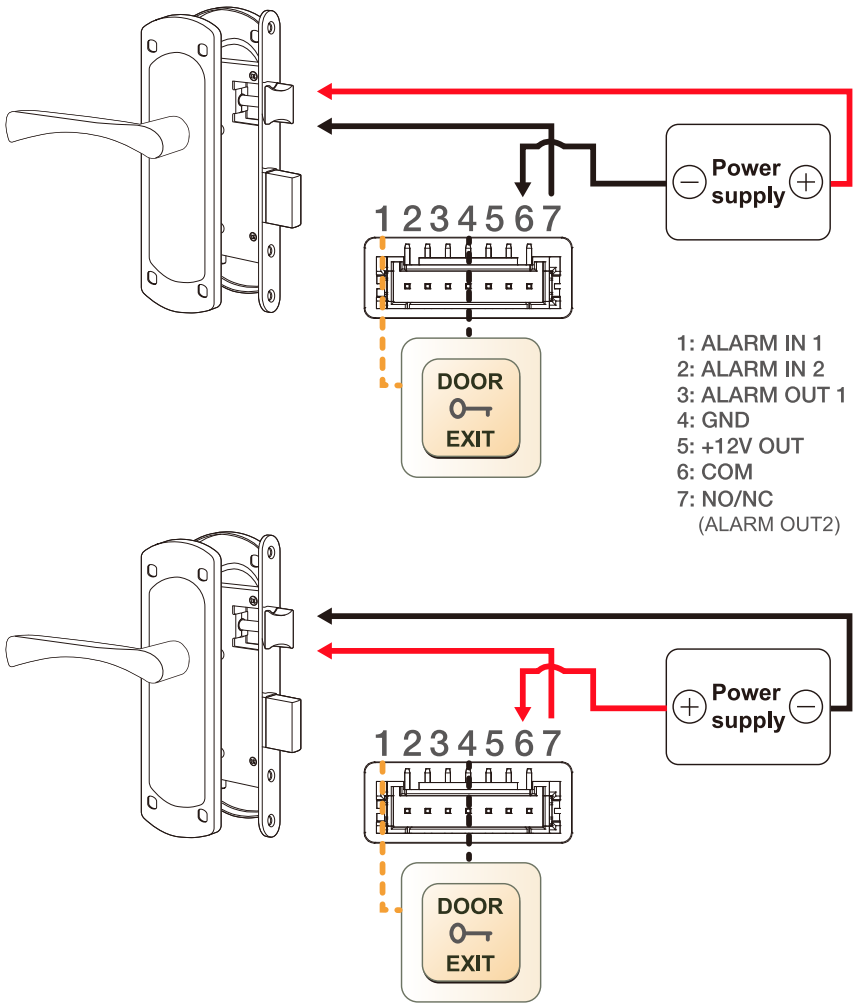
■ ドアストライクのタイプによって、インターコムのウェブビューアの設定が異なります。

■ **TID-A800で電源を供給されるドアストライク+ドアオープンボタン**



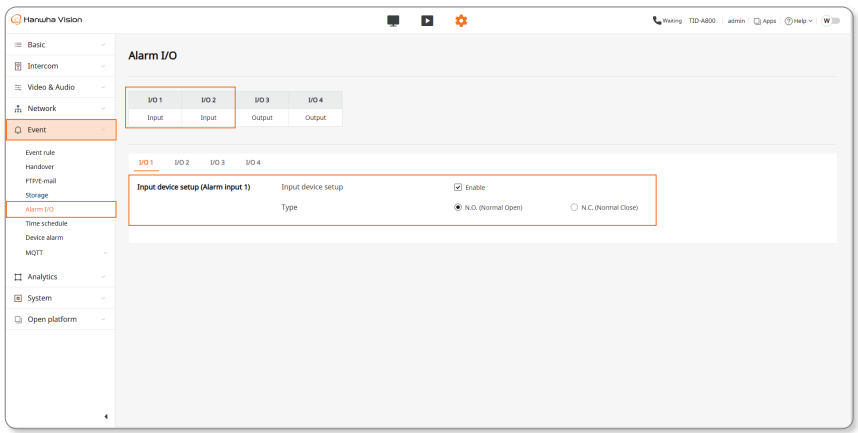


▪ 電源で動作するドアストライク+ドアオープンボタン

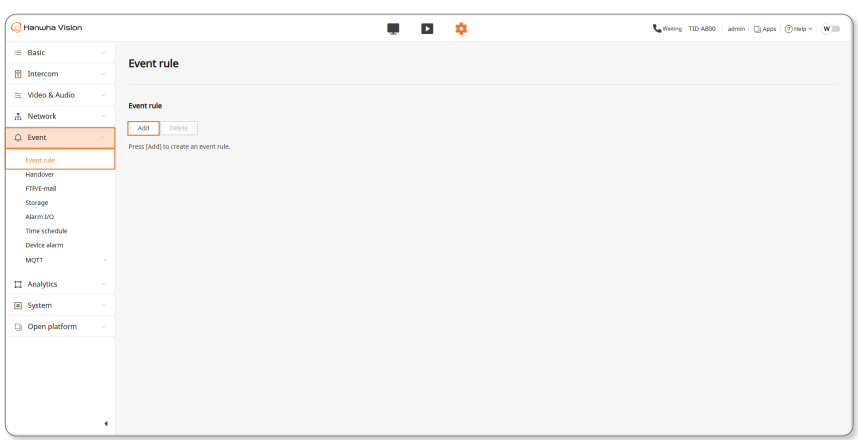


ドアオープンボタンでドアを開く

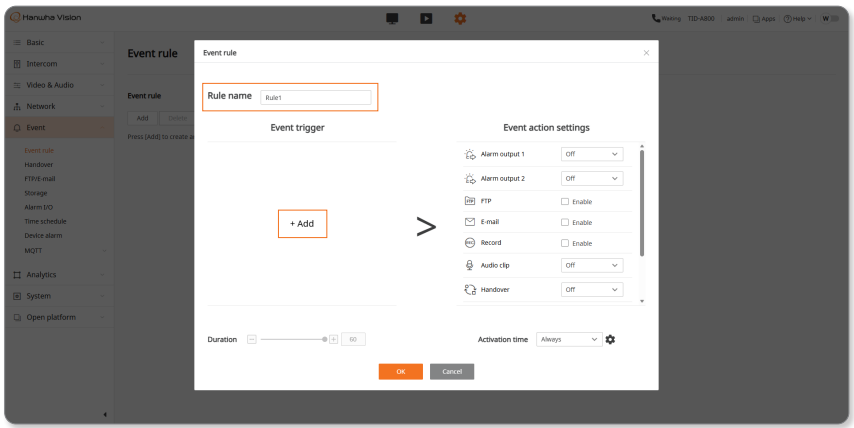
1. <設定 (⚙)> - <Event(イベント)> - <Alarm I/O(アラーム入/出力)>で<I/O 1>または<I/O 2>タブを選択し、<Input device setup(入力デバイス設定)>項目の<Enable(有効)>がチェックされていることを確認し、方式を<N.O.(Normal Open(N.O. (ノーマルオープン))>を選択します。
   - アラーム端子台1番と4番に接続する場合、<I/O 1>タブを選択します。
   - アラーム端子台2番と4番に接続する場合、<I/O 2>タブを選択します。



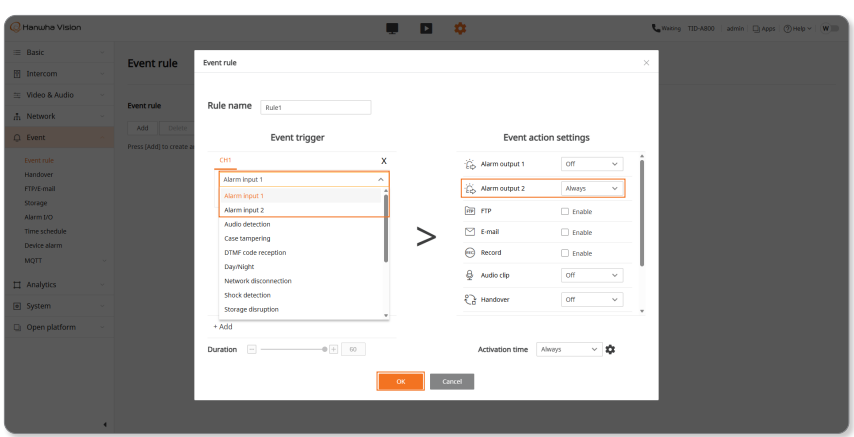
2. 設定 (⚙)> - <Event(イベント)> - <Event rule(イベントルール)>で[Add(追加]ボタンをクリックしてください。



3. ルール名を設定し、<**+ Add(+ 追加)**>ボタンをクリックしてください。



4. <**Event trigger(イベントトリガー)**>で<**Alarm input1(アラーム入力1)**>または<**Alarm input2(アラーム入力2)**>を選択した後、<**Event action settings(イベントアクションの設定)**>の<**Alarm output 2(アラーム出力2)**>で<**5s**>、<**10s**>、<**15s**>の中から好きな時間を選択し、[**OK**]ボタンをクリックしてください。
   - アラーム端子台1番と4番に接続する場合、<**Alarm input 1(アラーム入力1)**>を選択します。
   - アラーム端子台2番と4番に接続する場合、<**Alarm input 2(アラーム入力2)**>を選択します。
   - ドア開放ボタンを押すと、設定した時間(5s/10s/15s)の間、ドアが開いた後、自動的に閉じます。

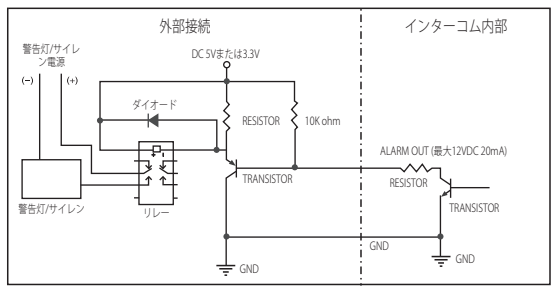


アラーム出力の接続

オープンコレクタ方式で、電圧や電流仕様を超過するデバイス(警光灯、サイレンなど)を接続する場合、製品が故障する可能性があります。

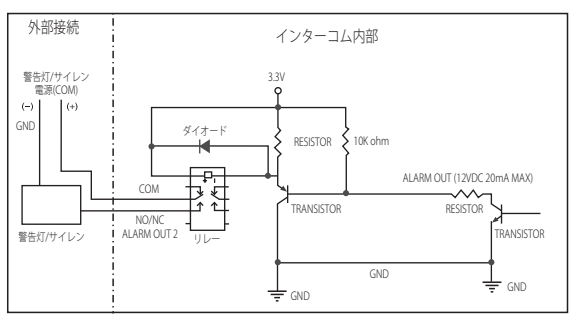
電圧および電流仕様を超えるデバイスを接続する場合は、次のアラーム出力接続図を参照してください。

アラーム出力1 接続図



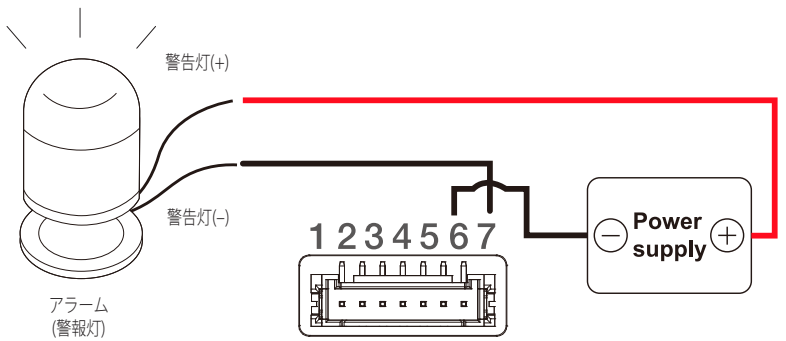
アラーム出力2(NO.NC)の接続方法

アラーム出力2（NO/NC）接続図

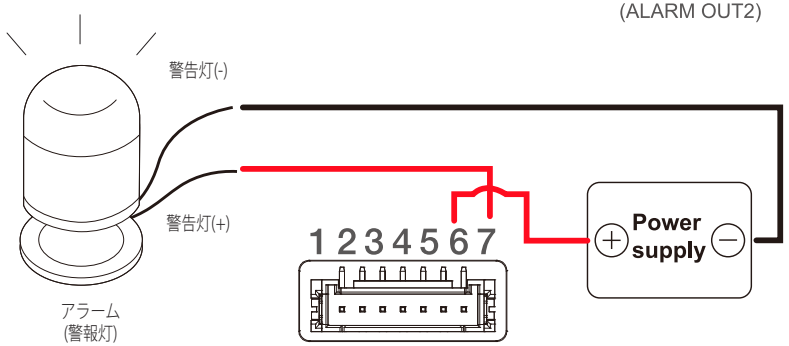


アラーム出力2に接続した警報灯の結線図

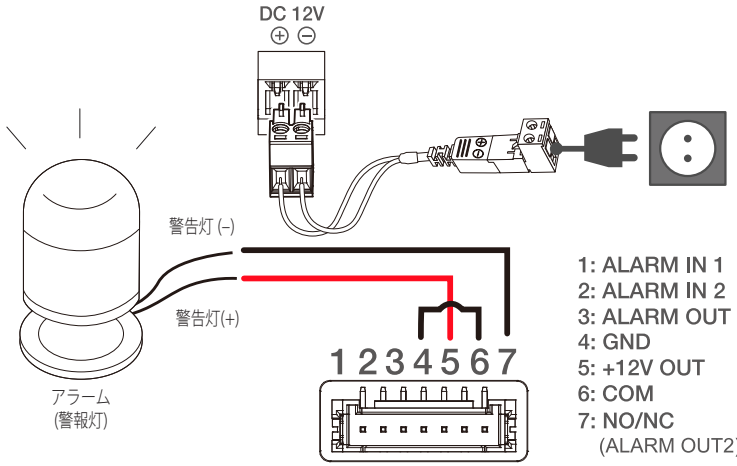
▪ 電源で作動する警報灯（インターコムとドアストライクが接続されていない場合:)



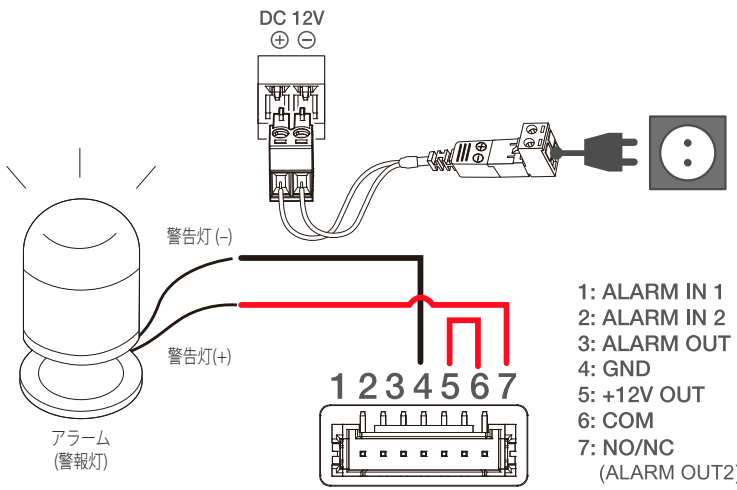
1: ALARM IN 1
2: ALARM IN 2
3: ALARM OUT 1
4: GND
5: +12V OUT
6: COM
7: NO/NC
(ALARM OUT2)



▪ TID-A800で電源を供給される警報灯(インターコムとドアストライクが接続されていない場合:)



1: ALARM IN 1
2: ALARM IN 2
3: ALARM OUT 1
4: GND
5: +12V OUT
6: COM
7: NO/NC
(ALARM OUT2)



1: ALARM IN 1
2: ALARM IN 2
3: ALARM OUT 1
4: GND
5: +12V OUT
6: COM
7: NO/NC
(ALARM OUT2)

▪ 12V電源を使用する警告灯を接続する必要があり、インターコムの電源でのみ動作が可能です。

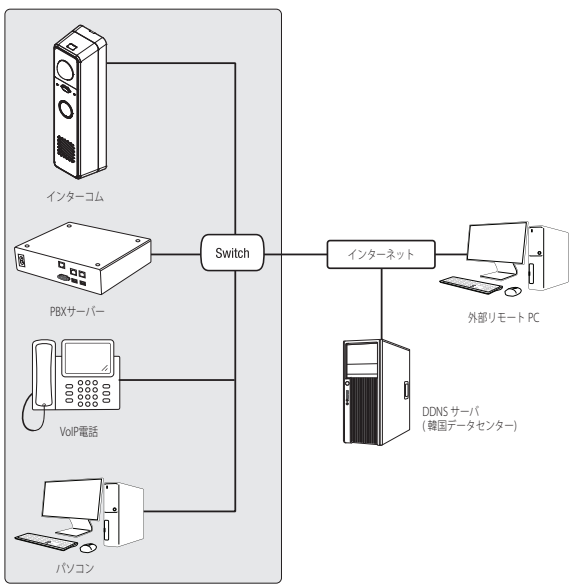
ネットワーク接続と設定

ユーザーのネットワーク接続構成に応じて、インターコムのネットワーク環境を設定することができます。

サウンドディテクターを直接LANに接続する

LAN のローカル PC からオーディオビーコンに接続する

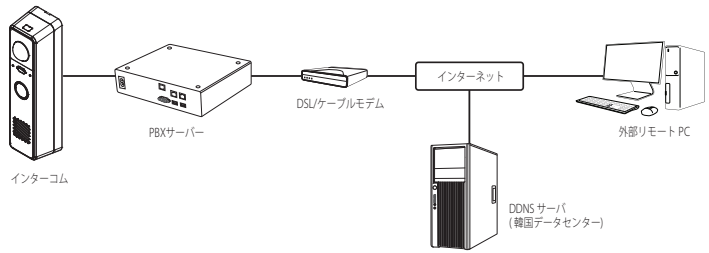
1. ローカルPCのインターネットブラウザを起動してください。
2. ブラウザのアドレスバーにサウンドディテクターの IP アドレスを入力します。



<ローカルネットワーク>

- LAN ネットワーク範囲外の外部インターネットのリモート PC は、ポート転送がきちんと設定されていない場合やファイアウォールが有効の場合には、設置済みサウンドディテクターとインターネット接続ができない場合があります。その時は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 工場出荷時の設定で、IPアドレスがDHCPサーバーから自動的に割り当てられます。使用可能なDHCPサーバーがない場合、IPアドレスは192.168.1.100に設定されます。IPアドレスを変更するにはConfigProを利用してください。ConfigProの使用方法は「**ConfigProを使用する**」をご参照ください。(27ページ)
- 本製品は、SIP対応が可能なドアホンまたはPBX機器と互換性があります。
- 外部インターネット接続ができていないローカルネットワークの場合、手動または PC と同期化すると時間を設定できます。Webビューアの設定画面 - [Basic] - [日付&時刻] - [システム時刻の設定]

カメラを直接DHCPベースのDSL/ケーブルモデムに接続する



1. ユーザのPCをインターコムに直接接続します。
2. ConfigProを使用して当該インターコムのIPアドレスをユーザーのPCからインターネットブラウザを通じて接続できるIPアドレスに変更してください。
3. インターネットブラウザを使用してWeb Viewerと接続します。
4. <**設定**>ページに移動します。
5. <**ネットワーク**> – <**DDNS**>に移動し、DDNSの設定を行います。
6. <**Basic**> – <**IP & ポート**>へ移動し、IP方式を <**DHCP**> に設定します。
7. PCから取り外したインターコムを直接モデムに接続します。
8. インターコムを再起動してください。

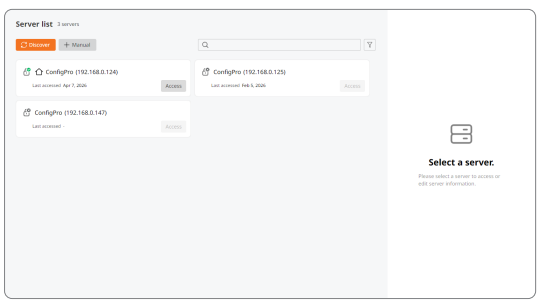
- DDNSの設定方法についての情報は、ウェブビューアのオンラインヘルプを参照してください。
- IPフォーマットの設定方法についての情報は、ウェブビューアのオンラインヘルプを参照してください。

ConfigPro を使用する

- ConfigProプログラムは、Hanwha Visionウェブサイト(https://www.HanwhaVision.com)にアクセスして<**Products**（**製品**）> - <**Software**（**ソフトウェア**）> - <**Management**（**管理**）>内のモデルページでダウンロードできます。
- ConfigProの詳細な使用方法は、ページ内の<**Manuals**（**マニュアル**）>メニューで確認できます。

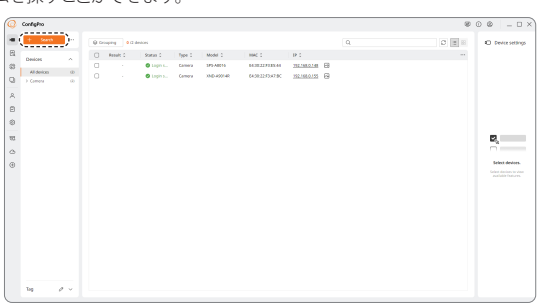
サーバーを実行する

ネットワーク上のサーバーのリストの中から、インターコムがインストールされたサーバーを選択してログインできます。



自動的にインターコムを検索する

ConfigProに登録されたサーバーと同じネットワークにインターコムが接続されている場合は、検索機能を使ってネットワークインターコムを探すことができます。



1. ConfigProのメイン画面で<**Search**（**デバイスを探す**）>をクリックしてください。
2. 検索リストで検索したいインターコムが表示されているか確認してください。
   - インターコムに付着されたステッカーでMACアドレスを確認してください。

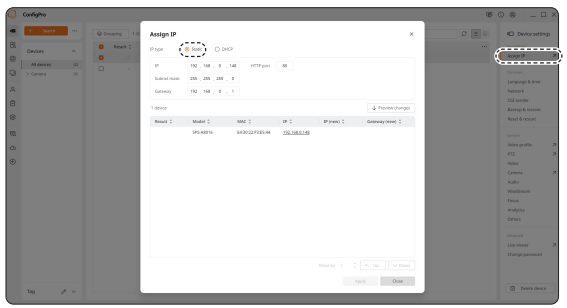
IPアドレスを設定する

インターコムのネットワーク設定を変更するためには、<**Status(状態)**>項目に<**Login success(ログイン成功)**>と表示される必要があります。

Static IPを設定する

IPアドレス&ポート情報を手動で入力して設定します。

1台のインターコムを設定する場合



1. 検索リストでIP設定を変更する場合はインターコムを選択してください。
2. ConfigProの右画面で<**Assign IP**（**IP割り当て**）>をクリックしてください。
3. <**Static**>を選択してください。
   - インターコムのIP情報が既存に設定されている値で表示されます。
4. IP関連項目&ポート関連項目を入力してください。
5. <**Preview changes**（**変更プレビュー**）>ボタンをクリックして割り当てるIPアドレスを確認します。

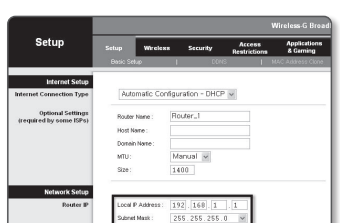
ブロードバンドルーターを使用しない場合

ネットワークマネージャーに<**IPアドレス**>、<**Subnet Mask**>、<**Gateway**>の設定値をお問い合わせください。

- HTTP ポート : インターネットブラウザを使用してインターコムにアクセスする際に使用します。初期設定は80です。
- RTSPポート：リアルタイム・ストリーミングを制御するポートであり、初期値は554です。

ブロードバンドルーター使用の場合

- IP Address : ブロードバンドルーターによって指定されたIP範囲でアドレスを入力します。
  例）192.168.1.2~254、192.168.0.2~254、
  192.168.XXX.2～254
- Subnet Mask : IPルーターの<**Subnet Mask**>がインターコムの<**Subnet Mask**>値になります。
- ブロードバンドルーターの<**Local IP Address**>が、インターコムの<**Gateway**>となります。



- 設定は、接続しているブロードバンドルーターのモデルによって異なる場合があります。詳細は、該当するルーターのユーザーマニュアルを参照してください。
- ブロードバンドルーターのポートフォワーディングの詳細については、**"ートフォワード（ポートマッピング)の設定"**を参照してください。（29ページ）

ブロードバンドルーターに複数のオーディオビーコンが接続されている場合

製品のIP関連項目、Port関連項目をそれぞれ別々に設定してください。

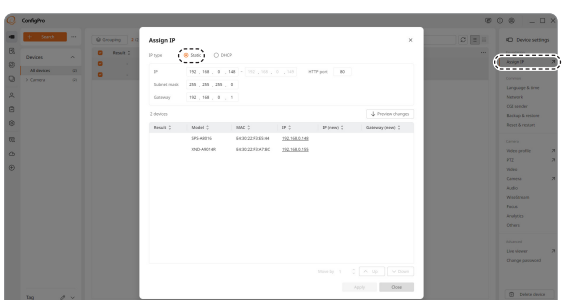
例)

カテゴリ		1番インターコム	2番インターコム
IP設定	IPアドレス Subnet Mask Gateway	192.168.1.100 255.255.255.0 192.168.1.1	192.168.1.101 255.255.255.0 192.168.1.1
ポート設定	HTTP ポート RTSP ポート	8080 554	8081 555

■ <**HTTP Port**>が80以外に設定されている場合、インターコムにアクセスするには、インターネットブラウザのアドレスバーで<ポート>番号を設定する必要があります。
例) http://IPアドレス:HTTPポート
http://192.168.1.100:8080

6. <**Apply(適用)**>ボタンをクリックしてください。
7. 成功確認メッセージが表示されたら、<**OK**>ボタンをクリックしてください。

複数のインターコムを設定する場合

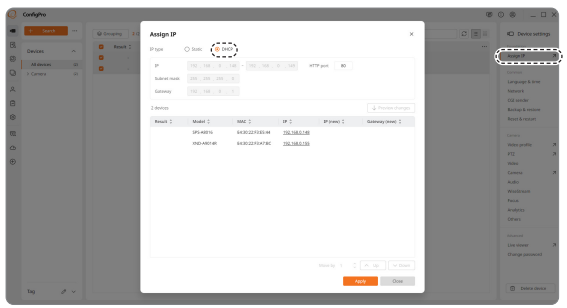


1. 検索リストでIP設定を変更する場合はインターコムを選択してください。
2. ConfigProの右画面で<**Assign IP**（**IP割り当て**）>をクリックしてください。
3. <**Static**>を選択してください。
4. 割り当てるIPアドレス範囲の開始アドレスを入力してください。
5. <**Preview changes**（**変更プレビュー**）>ボタンをクリックして割り当てるIPアドレスを確認します。
6. <**Apply(適用)**>ボタンをクリックし、IPの割り当てを開始します。
7. 成功確認メッセージが表示されたら[**OK**（**確認**）]ボタンをクリックしてください。

ダイナミックIPを設定する

IPアドレスをDHCPで自動に割り当てられます。

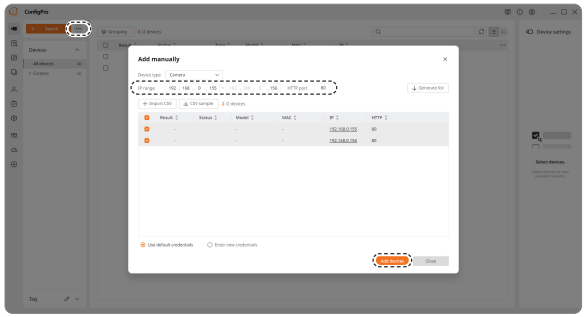
- 動的IP環境の例
  - インターコムに接続しているブロードバンドルーターが、DHCPサーバーでIPアドレスを割り当てられている場合
  - DHCPプロトコルを使用して直接インターコムをモデムに接続する場合
  - IPがLAN経由で内部DHCPサーバーに割り当てられている場合



1. 検索リストでIP設定を変更する場合はインターコムを選択してください。
   - 複数台のインターコムを選択すると同時に設定することができます。
2. ConfigProの右画面で<**Assign IP**（**IP割り当て**）>をクリックしてください。
3. <**DHCP**>を選択してください。
4. [**Apply(適用)**]ボタンをクリックし、IPの割り当てを開始します。
5. IP割り当ての成否は、<**Result(結果け)**>の項目で確認してください。

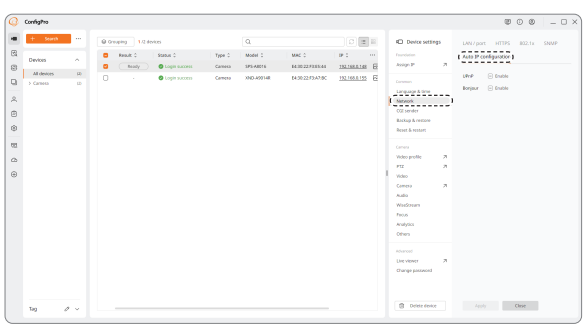
手動でインターコムを登録する

検索機能でインターコムが見つからない場合は、IP情報を手動で入力してリモートでインターコムを検索・登録することができます。



1. ConfigProのメイン画面で<**Search**（**デバイスを探す**）>の右にある<**...**>ボタンをクリックしてください。
2. 検索するIPアドレスの範囲を入力後、[**Generate list**（**リスト作成**）]ボタンをクリックしてください。
3. 登録するデバイスを選択後、[**Add devices**（**デバイス追加**）]ボタンをクリックしてください。
4. リストでインターコムが登録されているか確認してください。
   - インターコムに付着されたステッカーでMACアドレスを確認してください。

自動にIPを設定する



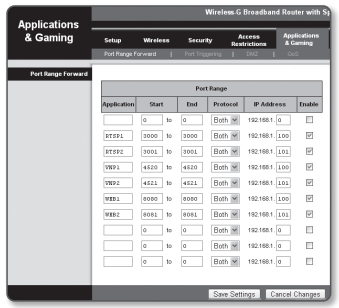
1. 検索リストでIPを自動に設定するインターコムをクリックしてください。
2. ConfigProの右画面で<**Network**（**ネットワーク**）>をクリックしてください。
3. 右側のタブで<**Auto IP configuration**（**自動IP構成**）>をクリックしてください。
4. <**UPnP**>または<**Bonjour**>プロトコルを使用する場合は、<**Enable(使用)**>を選択した後、[**Apply(適用)**]ボタンをクリックしてください。

ートフォワード（ポートマッピング）の設定

インターコムを接続したままブロードバンドルーターをインストールした場合は、ブロードバンドルーター上でポート範囲フォワードを設定し、ルーター内のインターコムにリモートPCからアクセスできるようにする必要があります。

手動ポートフォワード

1. ブロードバンドルーターの設定メニューから<**Applications & Gaming**> - <**Port Range Forward**>を選択します。
   サードパーティのブロードバンドルーター用にポートフォワードを設定するには、ブロードバンドルーターのユーザーマニュアルを参照してください。
2. ブロードバンドルーターに接続されている各インターコム用の<**TCP**>と<**UDP Port**>を選択します。
   IPルーターに設定する各ポートの数字は、インターコムWeb Viewerの<**設定**> - <**Basic**> - <**IP & ポート**>に指定されるポート番号に合わせて設定しなければなりません。
3. 完了後、[**Save Settings**]をクリックします。
   設定が保存されます。

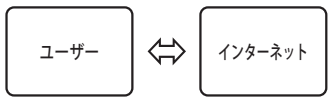


- ポートフォーワーディング設定の説明は、CISCO IPのルーターで設定した例示です。
- 設定は、接続しているブロードバンドルーターのモデルによって異なる場合があります。
  詳細は、該当するルーターのユーザーマニュアルを参照してください。

複数のネットワークインターコムに関するポートフォワード範囲設定

- ルータのポート転送設定は、ルータの設定ページから変更することができます。
- ユーザーは、インターコム設定画面を使って各ポートを変更できます。

インターコム1とインターコム2がルーターに接続されている場合:



ブロードバンドルーター			
開始	終了	プロトコル	IPアドレス
3000	3000	TCP/UDP	192.168.1.100
3001	3001	TCP/UDP	192.168.1.101
8080	8080	TCP/UDP	192.168.1.100
8081	8081	TCP/UDP	192.168.1.101

インターコム1 (192.168.1.100)	
HTTPポート	8080
RTSPポート	3000

インターコム2 (192.168.1.101)	
HTTPポート	8081
RTSPポート	3001

■ UPnP(Universal Plug and Play)機能をサポートするルーターを使用すると、ルーターの設定なしでポート転送を行うことができます。
インターコムを接続後、"**設定** -> **ネットワーク** -> **DDNS**"メニューから<**DDNS**>の<**クイック接続**>のチェックボックスを選択します。

共有ローカルPCからインターコムへの接続

1. ConfigProを実行してください。
2. インターコムがインストールされたネットワークサーバーを選択してログインしてください。
3. ログインに成功するとサーバーのインターコムリストが表示されます。
4. 接続したいインターコムをダブルクリックしてください。
インターネットブラウザが起動し、インターコムに接続されます。

■ インターネットブラウザのアドレスバーに検出されたインターコムのIPアドレスを入力し、インターコムにアクセスすることもできます。

リモートPCからインターネット経由でのインターコムへの接続

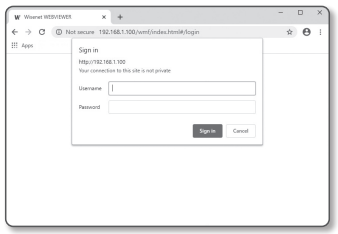
IPルーターのネットワーククラスター外部のリモートパソコンでは、ユーザーがインターコムのDDNS URLを用いてIPルーターのネットワーク内部にあるインターコムにアクセスすることができます。

1. ブロードバンドルーターのネットワーク内のインターコムへアクセスする前に、ブロードバンドルーターにポートフォワードを設定しておく必要があります。
2. リモートPCから、インターネットブラウザを起動しインターコムのDDNS URLアドレスを入力するか、アドレスバーでブロードバンドルーターのIPアドレスを入力します。
例）http://ddns.hanwha-security.com/ID

■ DDNSを有効にするためには、DDNSのウェブサイト(http://ddns.hanwha-security.com)で会員登録をした後、[**My DDNS**]>[**製品登録**]で先に製品を登録する必要があります。

インターコムに接続する

通常の方法



1. インターネットブラウザを起動します。
2. アドレスバーにインターコムのIPアドレスを入力します。
   例) • IPアドレス(IPv4) : 192.168.1.100 ➡ http://192.168.1.100
   - ログインダイアログが表示されます。
   • IPアドレス(IPv6) : 2001:230:abcd: ffff:0000:0000:ffff:1111
   ➡ http://[2001:230:abcd:ffff:0000:0000:ffff:1111]
   - ログインダイアログが表示されます。

HTTPポートが80以外の場合

1. インターネットブラウザを起動します。
2. アドレスバーにインターコムのIPアドレスとHTTPのポート番号を入力します。
   例） IPアドレス : 192.168.1.100:HTTPのポート番号(8080)
   ➡ http://192.168.1.100:8080
   - ログインダイアログが表示されます。

URLを使用する場合

1. インターネットブラウザを起動します。
2. アドレスバーにインターコムのDDNS URLを入力します。
   例） URLアドレス : http://ddns.hanwha-security.com/ID
   - ログインダイアログが表示されます。

■ ネットワーク接続はLANのみの環境では無効になります。

UPnPを介した接続

1. UPnPプロトコルをサポートするために、クライアント或いはオペレーティングシステムを実行します。
2. 検索されるインターコムの名前をクリックしてください。
   Windowsオペレーティングシステムでは、ネットワークメニューから検索したインターコム名をクリックします。
   - ログインウィンドウが表示されます。

Bonjourを介した接続

1. Bonjourプロトコルをサポートするためにクライアント或いはオペレーティングシステムを実行します。
2. 検索されるインターコムの名前をクリックしてください。
   Macのオペレーティングシステムでは、SafariのBonjourタブから検索したインターコム名をクリックします。
   - ログインウィンドウが表示されます。

■ UPnPまたはBonjourプロトコルを使用する場合は、"**自動にIPを設定する**"を参照してください。

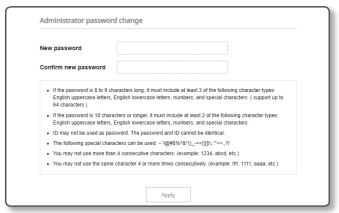
DDNSアドレスを確認するには

インターコムを直接DHCPベースのケーブルモデムまたはDSLモデムに接続すると、ISP(ユーザーが契約する会社)に接続を試行する度にIPアドレスが変更されます。
その場合、DDNSによるIPアドレスの変更は通知されません。

流動IPを使用する製品をDDNSサーバーに登録しておけば、製品にアクセスしようとするときに、変更されたIPアドレスを簡単に知ることができます。
IPアドレスを[**DDNS**]サーバーに登録するためには、まず http://ddns.hanwha-security.com/ID ページで製品を登録した後、インターコムWebビューアの[**ネットワーク**] - [**DDNS**]項目を[**DDNS**]に設定し、[**製品ID**]にDDNSサーバーで登録した製品IDを入力してください。

パスワード設定

本製品を初めて使用する場合、ログインパスワードを登録する必要があります。



- 新しい暗証番号は8文字以上、9文字以下は英大・小文字、数字、記号の中で3種類以上を使用し、10字以上は2種類以上を使用してください。（最大64文字まで可能）
  - 認められている特別文字： ~`!@#$%^&*()_-+={}< >|\;:'"< >,.?/
- パスワードを設定時、スペースは使用できません。
- IDと同じパスワードは使用できません。
- セキュリティ強化のため、同じ文字の繰り返しやキーボード配列順の文字列はパスワードとして使用できません。
- パスワードを忘れた場合はカメラの［**SET**］ボタンを押して製品を初期化する必要がありますので、設定したパスワードは必ずお忘れにならないようご注意ください。

ログイン

インターコムにアクセスするたびに、ログインウィンドウが表示されます。

インターコムにアクセスするには、設定されたユーザーIDとパスワードを入力してください。



1. <**User name**>入力ボックスに"**admin**"と入力します。
   管理者のIDである"**admin**"は、Web Viewerで変更できます。
2. <**Password**>入力欄に入力します。
3. <**Sign in**>をクリックします。
   ログインが完了すると、インターコムライブビューア画面が表示されます。

- インターコムWebビューアに接続する際、映像情報が暗号化されていないので、セキュリティに十分ご注意ください。

- 画面サイズが100%である場合、映像画質が最高の状態になります。倍率を小さくすると、境界線上の画像がカットされます。

カメラ・ウェブビューアーの設定

1. [**設定 ( )**]アイコンをクリックします。
2. 設定画面が現れます。
3. ネットワーク上でインターコムの基本情報、ビデオとオーディオ、ネットワーク、機能、システムを設定できます。
4. <**ヘルプ ( )**> をクリックして、それぞれの機能の詳細説明を表示します。

トラブルシューティング

問題	解決策
Windows 10のユーザーがChrome、FirefoxでWebビューアーに接続すると、マイクのボリュームが周期的に変動します。	• これは、マイクドライバーがRealtekドライバーに設定されている場合に生じる現象です。マイクドライバーをHigh Definition Audioデバイス(Windows Defaultドライバー)または他社メーカーのドライバーに変更してください。
イベント時のオーディオ再生に必要なWAVEファイルの仕様は？	• サンプリングレート(sampling rate)は48000 KHz以下で使用することを推奨します。 • サンプルあたりのビット数(bits per sample, bps)は8/16 bitまで推奨します。 • PCMでエンコードされた形式のみをサポートします。
SafariでHTTPS経由でプラグインフリーのWeb Viewerにアクセスすると、映像は表示されません。	• https初回接続時に表示されるウェブサイトの認証ポップアップで<証明書の表示>をクリックした後、<Webビューアの設定IPに接続する際、常に信頼する>の項目のチェックボックスを選択してください。 • 以下のメッセージウィンドウで「次へ」を選択した後にWeb Viewerでの表示に失敗する場合、commandキー + Qを押してSafariブラウザを終了し、再度アクセスして上述の手順に従います。
ブラウザでインターコムに接続できません。	• ネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認してください。 • ネットワークケーブルがすべてきちんと接続されているか確認します。 • DHCP を使用して接続した場合、カメラが問題なく動的 IPアドレスを取得できたか確認します。 • インターコムがブロードバンドルーターに接続している場合、ポート転送がきちんと設定されているか確認します。
閲覧中にビューアが遮断された。	• 他の接続者がインターコムの設定値を変更したり、ネットワーク設定を変更したりすると、接続されていたウェブビューアは切断されます。 • ネットワーク接続をすべて確認します。
ConfigProプログラムでネットワークに接続されたインターコムが検索されません。	• Windowsのタスクマネージャーまたはリソースモニターで7711ポートを占有している他のソフトウェア(プロセス)がある場合は、終了してからもう一度検索してください。 • 使用中の PC のファイアウォールを無効にし、カメラを再検索してください。
画像がオーバーラップする。	• 2台以上のインターコムが同じマルチキャストアドレスを使用せず、異なるアドレスに設定されていることを確認してください。複数のカメラが単一アドレスを使用すると、画像がオーバーラップする原因になります。
画像が表示されない。	• 映像伝送方式がマルチキャストに設定されている場合、インターコムが接続したローカルネットワークにマルチキャストをサポートするルーターが存在することを確認してください。
音声入力の設定がされているのですが、音声録音ができません。	• <Basic>-<ビデオプロファイル>で<オーディオ入力>を使用することをチェックする必要があります。

問題	解決策
<分析>で<動体検知>を<有効>に設定した後、インターコムから映像分析イベントが発生してもメールが届きません。	• 設定を次の順序で確認します。 A. <日付＆時間>設定をチェックします。 B. <モーション検知>が<使用>に設定されていることを確認します。 C. <イベント設定>メニューの<E-mail>オプションが選択されて使用可能になっているかどうか確認してください。
Micro SDカードに録画できません。	• メモリカードに問題がないか確認してください。 • Micro SDカードを交換する場合は、本製品の電源を切った状態で行う必要があります。
Micro SDカードを挿入しても、カメラが正しく動作しません。	• Micro SDカードが正しい方向で正確に差し込まれているか確認してください。別の機器でフォーマットしたMicro SDカードの場合、本製品での動作は保証できません。 • Micro SDカードを<設定> ➡ <イベント> ➡ <ストレージ>メニューで再度初期化してください。
NASに記録できません。	• NASに登録した情報が正しいことを確認します。
NAS設定が失敗したと報告が出ています。	• NASのIPアドレスが有効であること。 • NASのID/パスワードが有効であること。 • NASのIDを使う基本フォルダに指定したフォルダにアクセスできること。 • NAS SMB/CIFSの項目をチェックしていないこと。 • NASのIPアドレスとインターコムのIPアドレスが同じ形式であることを確認してください。例)NASおよびインターコムのサブネットマスクの初期値は255.255.255.255.0です。IPアドレスが192.168.20.32である場合、NAS IPアドレスは192.168.20.1～192.168.20.255の範囲にある必要があります。 • 保存または使用する基本フォルダを初期化せずに、別のユーザーとして利用しようとしていたかを確認します。 • 推奨されているNAS装置を使用したかどうか確認します。

Hanwha Visionでは環境保護のため、製品製造の全工程で環境に配慮しており、より環境に優しい製品をお客様にお届けするため数多くの措置を講じています。
エコマークは、環境に優しい製品を創り出すHanwha Visionの意志を表すとともに、それらの製品が欧州RoHS指令に準拠していることを示しています。


Hanwha
Vision